

保健師のための研修

放射線被ばくに伴うリスクを正しく理解する 保健師を対象にした研修会



主催：公益社団法人 日本アイソトープ協会*

地域住民のみなさまの健康サポートを行ってきた保健師の方に、放射線に関する知識、とくに放射線被ばくに伴うリスクを理解していただき、「住民との放射線リスクコミュニケーション」を実践できる行政保健師・産業保健師の育成が目的です。

研修会では、講義のほかに、放射線測定器を使った実習及びグループワークを通して放射線のリスクコミュニケーションスキルを高めていただければと思います。原子力・放射線災害時に被災者の支援活動にあたる行政保健師・産業保健師の方のご参加をお待ちしております。

プログラム

1日目 13:00～17:40

講義

- 原子力・放射線災害と保健師の役割
- 放射線被ばくに伴うリスクを理解する
- 日常生活におけるリスクを理解する
- 保健師と放射線関連業務

2日目 9:00～13:00

(1) 測定実習

- 自然放射線の理解：放射線測定器を用いた自然放射線の測定
- 移動型エックス線撮影装置の利用時の防護方策：撮影現場における線量の把握

(2) グループワーク

住民の放射線不安にどう答えるか
— 事例を通じて —

日程	(I) 平成29年11月13日 (月)・14 (火) (II) 平成30年 1月29日 (月)・30 (火) (I)、(II)共に同じ内容です。
場所	東京医療保健大学 国立病院機構キャンパス (〒152-0021 東京都目黒区東が丘2-5-1)
対象	保健師 (行政保健師、産業保健師) など
募集人数	10名 (先着順)
受講料	無料 「看護と放射線-放射線を正しく理解する」日本アイソトープ協会刊 (2016) をテキストとして無料配布します。
申込方法	Web参加登録 http://www.jrias.or.jp/



* 本事業は、公益社団法人日本アイソトープ協会が、文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業 (原子力人材育成等推進事業費補助金)」として3ヶ年計画 (平成28年度～平成30年度) で実施しています。



お問い合わせ先

東京都文京区本駒込二丁目28番45号
公益社団法人日本アイソトープ協会 学術振興部学術課事務局
TEL 03-5395-8082 E-mail: gakujuitsu@jrias.or.jp